



2021年11月11日

各位

会社名 パーソルホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 和田 孝雄
(コード番号 2181 東証第一部)
問合せ先 執行役員 CFO 関 喜代司
(TEL 03-3375-2220)

2022年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

2021年8月10日に公表いたしました「2022年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の通期業績予想について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期業績予想数値の修正

(1) 2022年3月期通期業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	円 銭 未定
今回修正予想(B)	1,060,000	48,000	48,600	27,700	120.42
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (2021年3月期)	950,722	26,439	29,168	15,834	68.64

(2) 修正の理由

2022年3月期は、上期に続き、下期も順調にマーケットの回復が進むと想定しており、通期の売上高10,600億円、営業利益480億円と過去最高の売上高および営業利益を見込んでおります。

売上高については、Staffing SBUにおいて、人材派遣領域では期末にかけて派遣稼働者数が増加する見込みであることに加え、BPO領域でも公共案件を中心とした受注の貢献を見込んでおります。人材紹介事業を展開するCareer SBUでは、企業の人材採用に対する需要の回復が加速することが予想され、大幅な増収を見込んでおります。海外事業を展開するAsia Pacific SBUでは、豪州などでロックダウンによる稼働制限などのCOVID-19の影響を受けるものの、総じて経済は回復傾向にあることから、増収を見込んでおります。

利益面は、2023年3月期以降の更なる成長を目指し、グループ全体で大規模な投資を予定していることから、2022年3月期下期は販管費が増加する見込みですが、全てのセグメントにおける売上高の回復および伸長により、2022年3月期通期営業利益は、大幅な増益となる見込みです。

以上